



Panasonic®

取付説明書

設置と接続

7V 型ワイド XGA インダッシュ地上デジタル TV/AV システム
DVD/CD 内蔵 HDD カーナビステーション

品番 CN-HX3000D

取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書の「安全上のご注意」(※8～11 ページ)を必ずお読みください。

お客様へのお願い

本機の取り付け・配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

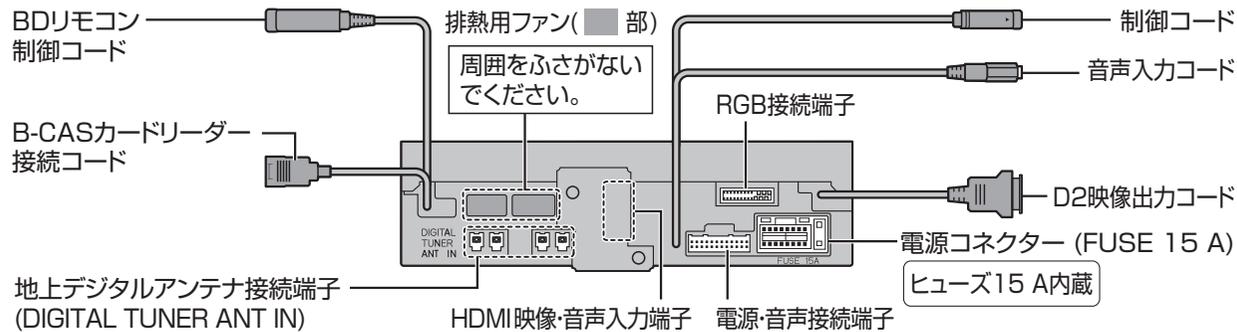
販売店様へのお願い

本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へご返却ください。

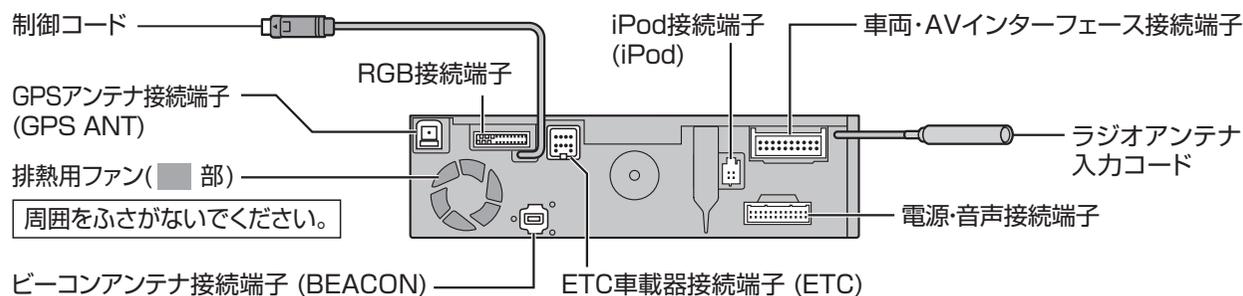
接続端子一覧

取り付けの際に、確認用としてお使いください。
配線についての詳細は、裏面の「配線のしかた」をご覧ください。

14 モニターユニット(後面)



1 ナビゲーションユニット(後面)



取り付け・配線の前に

- 取り付けの前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。(※裏面)
また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。(※裏面)

取り付けや配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量	番号	品名	数量	番号	品名	数量
ナビゲーションユニット関係			モニターユニット関係			地上デジタルテレビ関係		
1	ナビゲーションユニット	1	14	モニターユニット	1	27	B-CASカードリーダー(コード2m)	1
2	座付きねじ (M5 × 6 mm)	2	15	座付きねじ (M5 × 6 mm)	2	28	地上デジタルアンテナ (A・B 1セット)	2組
3	皿ねじ (M5 × 6 mm)	4	16	皿ねじ (M5 × 6 mm)	4	29	地上デジタルアンテナコード (A・B 1セット: 4 m)	2組
4	スペーサー/両面テープ	各2	17	座付きねじ (M4 × 3 mm)	4	30	コードクランパー	12
GPS アンテナ関係			コード/ケーブル関係			その他の付属品		
5	GPS アンテナ (コード6m)	1	18	スペーサー/両面テープ	各2	品名		数量
6	防水ゴム	1	19	電源コード	1	クリーナー (地上デジタルアンテナ用)	2	
7	金属シート (車内取付用)	1	20	車速信号中継コード (1.5 m)	1	主な添付品		
8	保護シート (車外取付用)	1	21	電源・音声コード (45 cm)	1	取扱説明書	1	
9	コードクランパー	5	22	車両・AVインターフェースコード	1	基本操作ガイド	1	
リモコン関係※1			23	RGBケーブル (55 cm)	1	取付説明書	1	
10	リモコン	1	24	iPod中継ケーブル (2 m)	1	取付ゲージ	1	
11	単3形乾電池	2	25	圧着式コネクター	4	仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ	1	
12	リモコンホルダー	1	26	ケーブル固定バンド	2※2	B-CASカード	1	
13	両面テープ (20 mm × 50 mm)	1						

- 本書での長さ表記は、おおよその寸法です。
- 本書でのイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- ※1 リモコンの取り付けかたと電池の入れかたは、取扱説明書をご覧ください。
- ※2 1本は予備です。

パナソニック株式会社 オートモーティブシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町 4261 番地

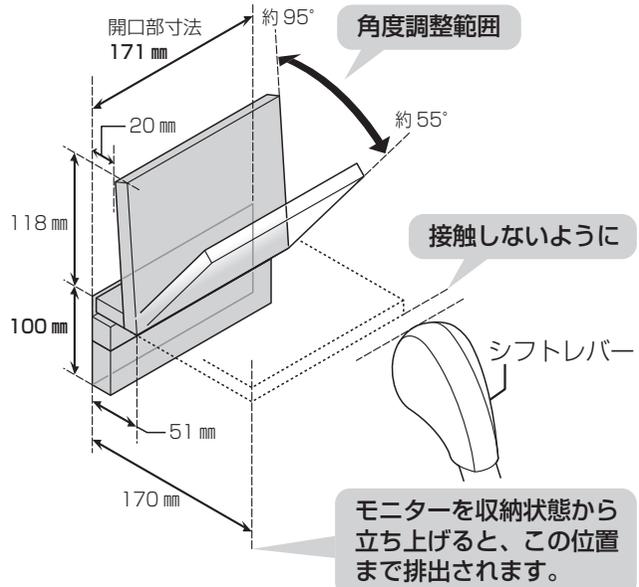
© Panasonic Corporation 2009

YEFM294587 F0709-0

取付部の寸法・角度について

必ずモニターユニットを上側、ナビゲーションユニットを下側に取り付けてください。

(モニターユニットを下側にすると、モニターが立ち上がったときにナビゲーションユニットの前面をふさいでしまいます。)



■寸法

本機は、2DINサイズ(横180mm×縦100mm)採用車に取り付けられます。

■角度

必ず、水平に対して40°以下の角度で取り付けてください。取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。(裏面「取り付け・配線の確認」)

1DINサイズ(横180mm×縦50mm)採用車、または取付角度が40°より大きくなる車に取り付ける場合はナビゲーションユニットをトランクや床になるべく水平に取り付けてください。

- トランクや床に取り付けるためには、別売のケーブル[CA-LND060D(6m)またはCA-LND040D(4m)]が必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

お願い

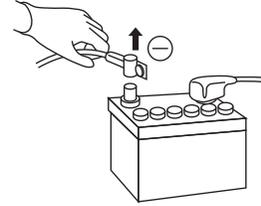
- アマチュア無線機などのアンテナの近くに取り付けしないでください。画像が乱れる原因になります。
- 保安装置(エアバッグ・盗難防止システムなど)を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。

お知らせ

- モニターの角度調整範囲は、使用状態(取付位置・取付角度など)により、一部制限される場合があります。
- センターコンソールの形状や寸法により、取り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

作業の順序

1 バッテリーの⊖端子を外す。



2 取り付け・配線をする。

■取り付け

下記の機器を取り付ける。

- B-CASカードリーダー
- GPSアンテナ
- 地上デジタルアンテナ

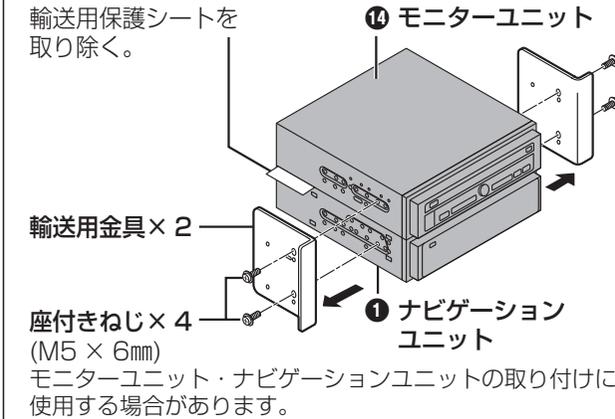
■配線

- 各種コード/ケーブルの配線を行う。(裏面)

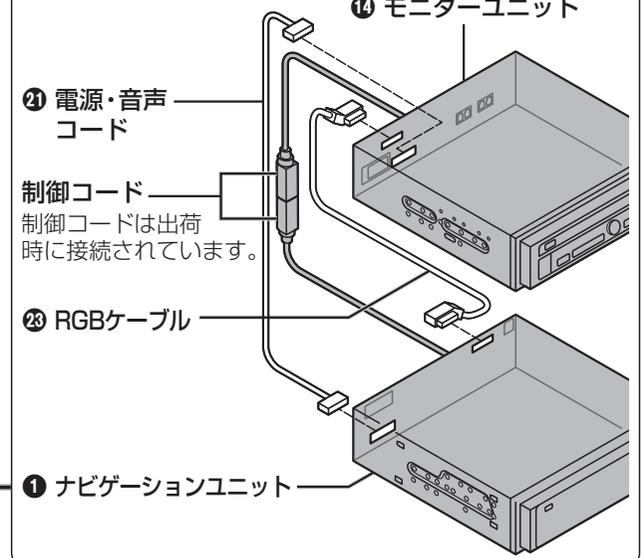
- 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。

3 輸送用金具を取り外す。

輸送用保護シートを取り除く。



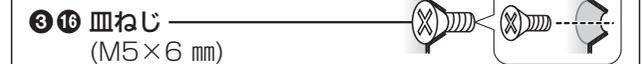
4 モニターユニットとナビゲーションユニットを接続する。



5 取り付け金具(ブラケット)を取り付ける。

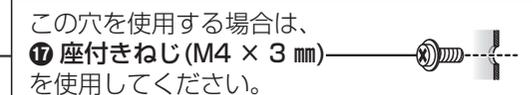
車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。また、年式・車種・グレードにより、専用キット(別売)が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

穴の形状に合わせてねじを選んでください



残りの2本は、輸送用金具を固定していたねじをご使用ください。

不安定な場合には、④ ⑬ スペース/両面テープで取り付けを補強し、固定してください。



お願い

- 故障の原因になりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。

センターコンソールに無理に押し込まないでください。配線(コネクターやコード)に負担がかかり、接続不良の原因になります。

取付例

6 モニターユニット・ナビゲーションユニットにコード/ケーブルを接続する。

- ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ずすべての配線をすませてから接続してください。
- 車両側との配線が容易にできる専用の中継コード(別売)があります。

7 モニターユニット・ナビゲーションユニットをセンターコンソールに取り付ける。

8 バッテリーの⊖端子をもとに戻す。

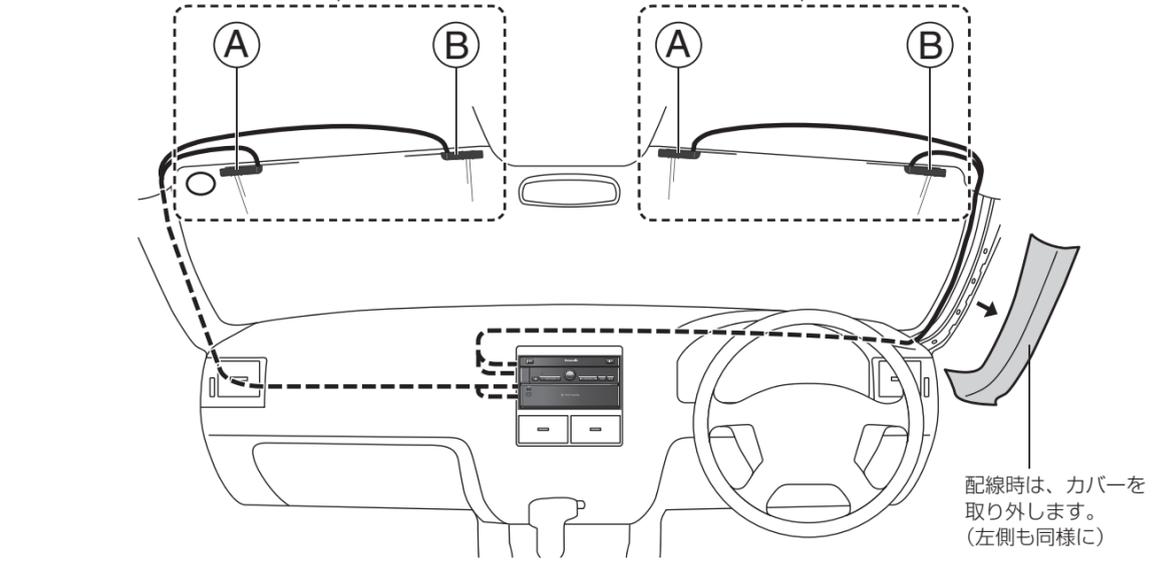
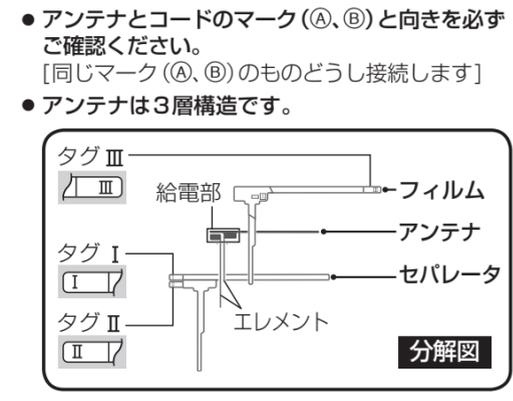
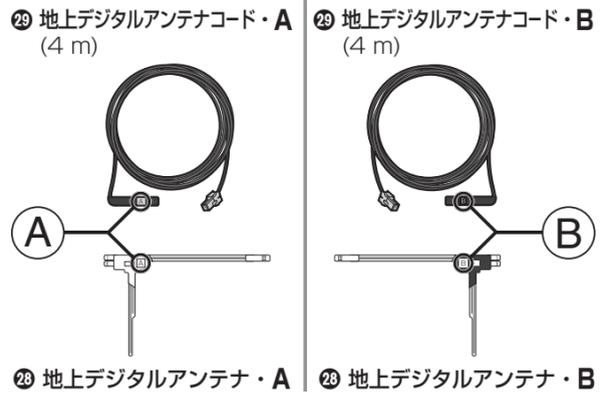
本機の前面を強く押さないでください。本機のボタンなどが破損する原因になります。

ツメがある場合は、ラジオペンチなどで平らに折り曲げます。

地上デジタルアンテナの取り付けかた

必ず車室内（フロントガラスの上側）に貼り付けてください。
 ● サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。

地上デジタルアンテナは、左右1対ずつ（A、B）あります。

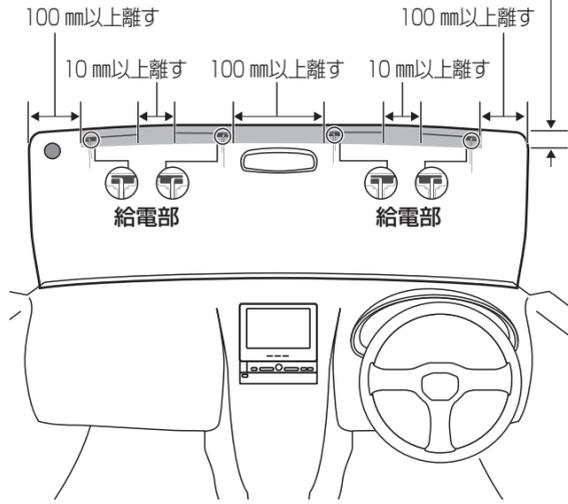


配線時は、カバーを取り外します。（左側も同様に）

貼付位置について

性能を十分発揮するために、必ず指定の位置（■部）に、正しい向きで貼り付けてください。

- 給電部をフロントガラス上部の車体金属部分の近く（フロントウィンドウ上端から25mm以内）に貼り付けてください。（セラミックライン上にも貼り付けられます。）



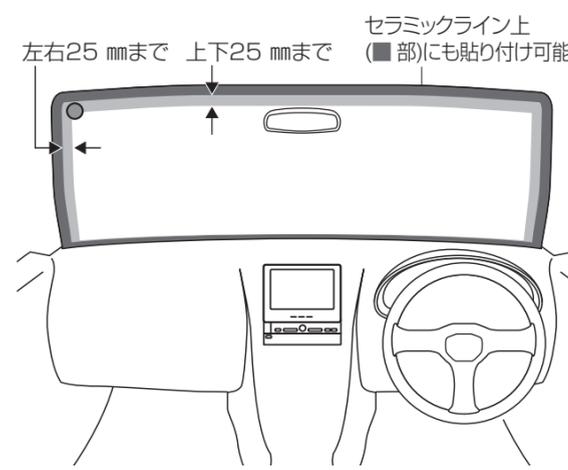
アンテナ貼り付け時の留意点

- アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 仮止めして、アンテナを貼り付ける位置（左右）をご確認ください。（貼りなおせません）
- アンテナを貼り付ける前に、付属のクリーナーで、設置面（ガラス面、ピラー）の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取ってください。
- ガラス面が完全に乾いていない状態でアンテナを貼り付けると、接着不良などによるはがれの原因になります。ガラスが十分に乾いた状態で作業を行ってください。
 - ・気温が低いとき（20℃以下）は、車内ヒーターやデフロスタでフロントガラスを温めてください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、100mm以上離して貼り付けてください。

国土交通省の定める保安基準について

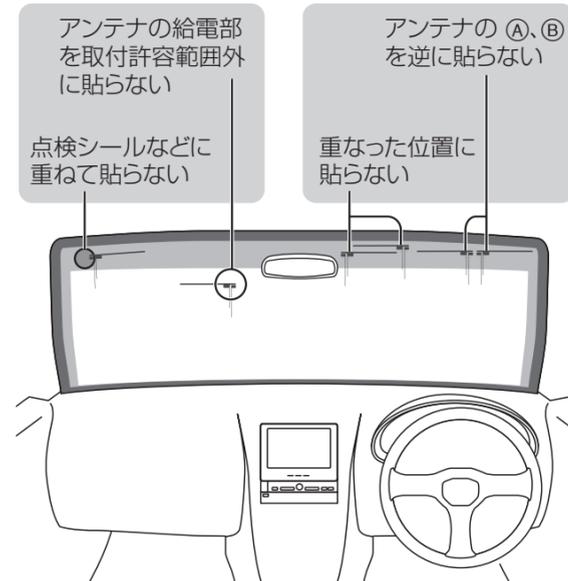
国土交通省の定める保安基準※に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内（■部）に貼り付けてください。

※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第6号に対する、細目告示第39条第3項第3号をいいます。



誤った貼り付けかた

- ✗ 下記のような貼り付けは、絶対にしないでください。
 - アンテナの給電部を取付許容範囲外に貼らない
 - アンテナのA、Bを逆に貼らない
 - 点検シールなどに重ねて貼らない
 - 重なった位置に貼らない

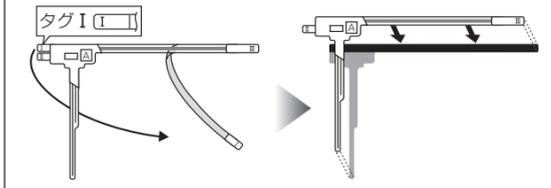


アンテナを貼り付ける

右側のアンテナの貼り付けかたを例に説明しています。左側のアンテナも、右側と同様に貼り付けてください。

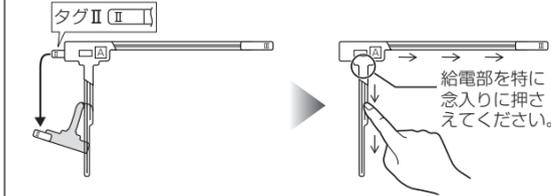
1 フロントガラスにアンテナを貼り付ける。

- ① 地上デジタルアンテナ・AのタグIを持ってセパレータをはがし、貼り付ける。
 - フィルムを強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因になります。
 - フィルム・エレメントの糊面に触れないでください。
 - 貼付位置を確認してから貼り付けてください。



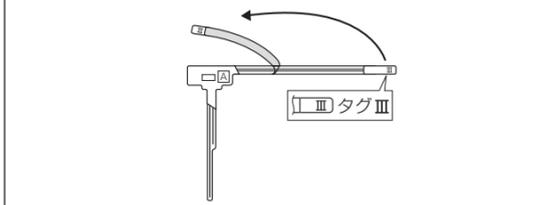
2 タグIIを持ってセパレータをはがし、エレメントをしっかりガラス面に密着させる。

- ② タグIIを持ってセパレータをはがし、エレメントをしっかりガラス面に密着させる。
 - 矢印の方向に、エレメントに沿って指などで均等に押付け、たわみや気泡が残らないようにガラス面に密着させてください。
 - 車外から見て、エレメントがガラス面に密着していることを確認してください。



3 タグIIIを持ってフィルムをはがす。

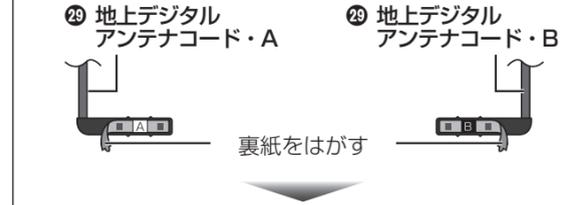
- ③ タグIIIを持ってフィルムをはがす。
 - エレメントがガラス面に貼り付いていることを確認しながら、タグIIIを持って、ゆっくりとはがしてください。
 - エレメントがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してエレメント上をこすり、再度はがしてください。



4 地上デジタルアンテナ・Bも同様に貼り付ける。

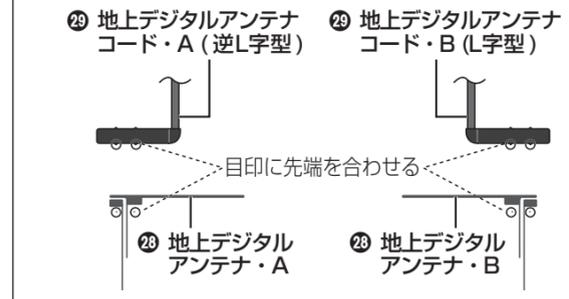
2 アンテナコードを取り付ける。

- ① 車の内張り（ピラーのカバー）を取り外す。
- ② アンテナコードのA・Bを確認して裏紙をはがし、



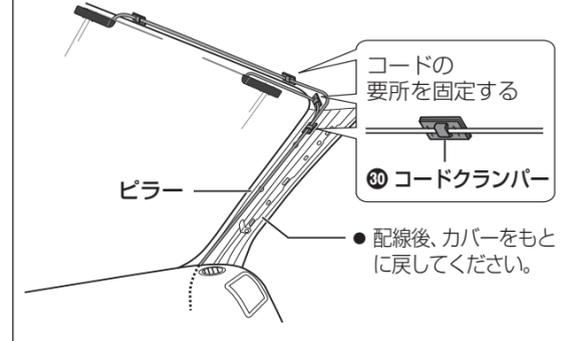
アンテナコードの端子を給電部に貼る。（必ずAとA、BとBを組み合わせてください。）

- アンテナコードの端子の向きを必ず確認してから貼り付けてください。



3 コードを引き回す。

- 他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。デジタルテレビの音声に雑音が入る原因になります。



4 アンテナコードをモニターユニットに接続する。（裏面）

GPS アンテナの取り付けかた

取り付ける前に

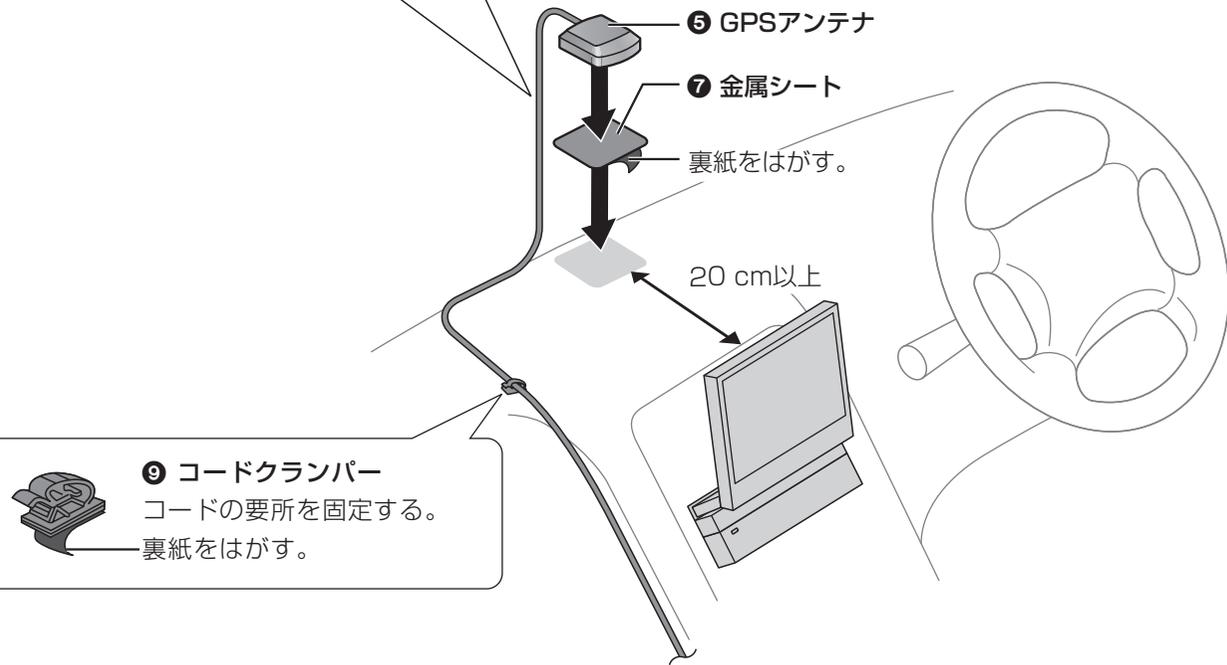
- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから、10 cm以上離して取り付けてください。

ダッシュボードやリヤトレイの上に取り付ける場合(推奨)

中央部のガラス付近に水平に取り付ける。



コードをドライバーなどの先のとがったもので押ししたりしないでください。コードが傷つき故障の原因になります。



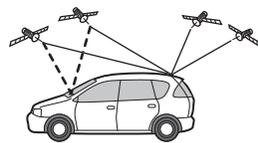
- ⑨ コードクランパー
コードの要所を固定する。
裏紙をはがす。

お願い

- 金属シートは、
 - ・必ず、付属の金属シートを使用してください。
 - ・折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーションユニットから30 cm以上離してください。
- GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。時計や磁気カードが故障したり、使えなくなる場合があります。

お知らせ

- 車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」(☎取扱説明書)にご相談ください。



車外に取り付ける場合

ルーフの平らな面に取り付ける。



- ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

車内に雨水が入らないようにコードを引き回す。



トランクのゴムパッキンに平行にあてる。

- ⑨ コードクランパー
コードの要所を固定する。
裏紙をはがす。

- 国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、コードクランパーは車内に取り付けてください。

* 道路運送車両の保安基準 第18条「車枠及び車体」細目告示 第1節 別添 20「外装の技術基準」

お願い

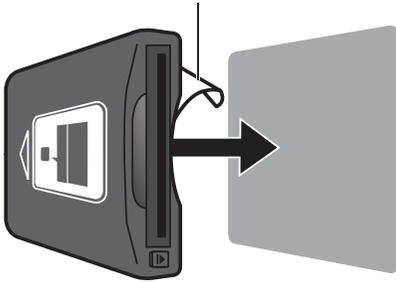
- GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。
- 洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取り外してください。取り外すときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

B-CAS カードリーダーの取り付けかた

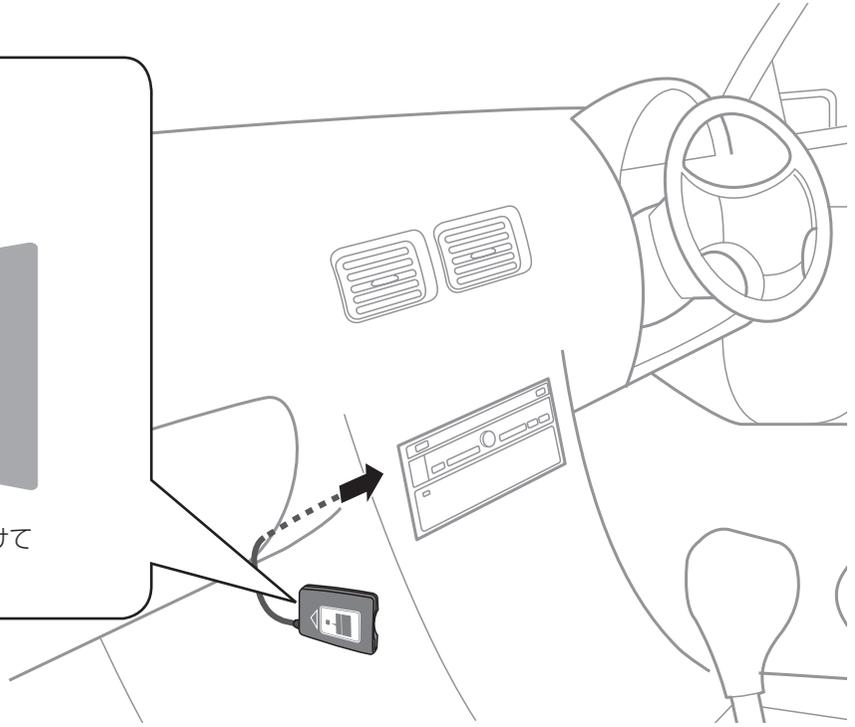
センターコンソールの横などに取り付ける。

⑦ B-CAS カードリーダー

両面テープ
裏紙をはがす。



- 貼付位置を確認してから貼り付けてください。



販売店様へのお願い

- B-CAS カードは、地上デジタルテレビ放送を受信するために必要です。
パッケージを開封すると、「B-CAS カード使用許諾契約約款」に同意されたとみなされますので、開封せず、そのままお客様へお渡しください。

お願い

- お使いになる前にB-CASカードを挿入してください。
- 貼り付ける前に、設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取ってください。
- 下記のところには取り付けないでください。
故障の原因になります。
 - ・水のかかるところ
 - ・足で踏まれるところ
 - ・ほこりの多いところ
 - ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
 - ・B-CASカードの出し入れの妨げになるところ

取り付け・配線の確認

下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

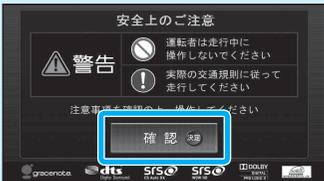
① 電源を入れる

1 車のエンジンをかける。
(またはACCをONにする)

2 **OPEN** を押して、
モニターを立ち上げる。



3 注意事項を確認して、
確認 をタッチする。



- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
- 現在地画面が表示されるまで、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。

4 見通しの良い場所で、
GPS信号(**GPS**)を受信していることを確認する。



- GPSマークが表示されないうちや点滅が継続するときは、受信状態を確認してください。(※取扱説明書)

② 設定画面を表示させる

1 **MENU** を押す。
● ツートップメニューが表示されます。

2 **情報/設定** をタッチする。



3 **取付角度設定**
車両信号情報
拡張ユニット情報

情報 → **システム情報** を
タッチする。(※下記4)

ラジオアンテナ設定

初期設定 をタッチする。

● 右記⑥



4 設定する項目を選ぶ。



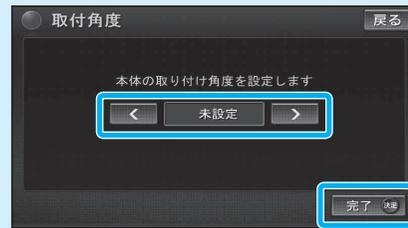
- **取付角度設定** (※右記③)
- **車両信号情報** (※右記④)
- **拡張ユニット情報** (※右記⑥)

お願い

- SALAS (※取扱説明書) による、立体駐車場などでの自車位置測位の精度を向上させるため、必ず設定してください。
- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。
- ナビゲーションユニットを取り外し、再度取り付ける際にも取付角度の設定は必要となります。取付ゲージは大切に保管してください。

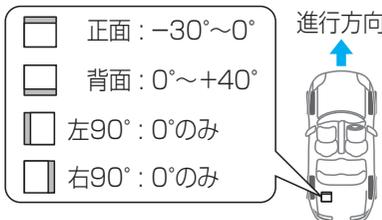
③ 取付角度設定

取り付け角度を設定し、
完了 をタッチする。



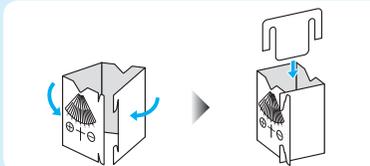
- 調整範囲: (5° ステップ) -30° ~ +40°
- お買い上げ時の設定: **未設定**

ナビゲーションユニットの向きに応じて、下記の範囲で設定してください。

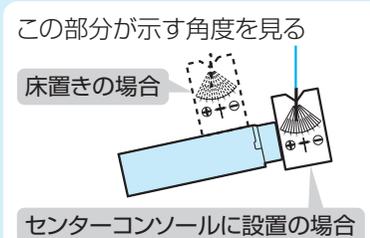


取付角度を測るには

1 取付ゲージを組み立てる。



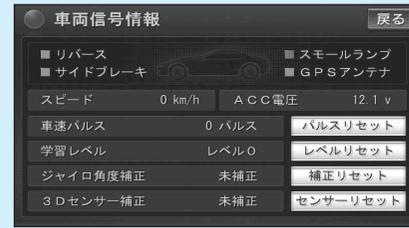
2 車体が水平になる場所で、ナビゲーションユニットに取付ゲージをあて、
取付角度を測る。



- ナビゲーションユニットの向きに関わらず、⊕マークを車の進行方向に向けて測ってください。
- 別売のケーブル[CA-LND060D(6 m)/CA-LND040D(4 m)]を使用して床に置いた場合は、取付ゲージをナビゲーションユニットの上に置いて、角度を測ってください。

④ 車両信号情報

車両信号を確認する。



1 下記の項目を確認する。

リバース	シフトレバーをR(リバース)に入れると、ON表示に変わりますか?
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON表示に変わりますか?
スモールランプ	車のスモールランプが点灯すると、ON表示に変わりますか?
GPSアンテナ	ON表示になっていますか?
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	約12V(11V~16V)になっていますか?

2 **パルスリセット**、**レベルリセット**、**補正リセット**、**センサーリセット** をタッチして、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」をリセットする。

- 次の場合にもリセットしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした

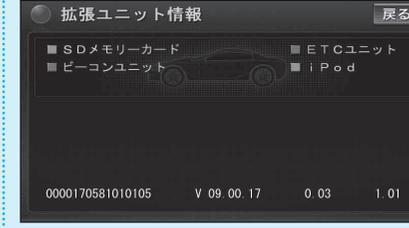
3 現在地画面を表示させ、平均時速20 km以上で見通しの良い場所をしばらく(60分程度)走行した後、
下表の項目を確認する。

車速パルス	走行後、数字が変化していますか?
学習レベル	走行後、数字が変化していますか?(レベル4が最大)
ジャイロ角度補正	走行後、「補正完」になっていますか?
3Dセンサー補正	走行後、「補正完」になっていますか?

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出る場合があります。
 - ・渋滞・停車を頻りに繰り返す
 - ・右左折が多い
 - ・GPS信号を受信しにくい
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

⑤ 拡張ユニット情報

拡張ユニットの取り付けを確認する。



SDメモリーカード	別売のSDメモリーカードを挿入すると、ON表示に変わりますか?
ビーコンユニット	別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)を接続している場合、ON表示になっていますか?
ETCユニット	別売のETC車載器(CY-ET909D/KD、CY-ET809Dなど)を接続している場合、ON表示になっていますか?
iPod	市販のiPodを接続している場合ON表示になっていますか?

モーターアンテナを操作する

ラジオアンテナを「モーターアンテナ」に設定した場合、ツートップメニュー画面にアンテナ操作のタッチキーが表示されます。

- アンテナの状態によって、タッチキーの表示が異なります
- 伸長時** タッチするとアンテナを収納します。
- 収納時** タッチするとアンテナを伸ばします。



- FM VICS・FM多重放送・ラジオ放送を受信するために、通常はモーターアンテナを上げてください。
- 立体駐車場などの天井の低い場所に入るときには、モーターアンテナを下げてください。
- モーターアンテナの状態は本機の電源を切っても記憶されています。上げた状態のまま電源を切った場合、いったんアンテナは収納され、次回起動時に自動的に上がります。

⑥ ラジオアンテナの設定

1 初期設定画面から、車両情報の
設定する をタッチする。

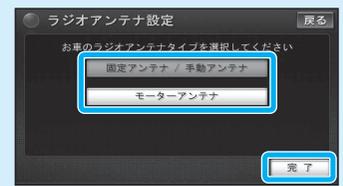


- ルート設定時は選べません。ルートを消去してください。(※取扱説明書)

2 **ラジオアンテナ設定の**
設定する をタッチする。



3 車のラジオアンテナのタイプ
を選び、**完了** をタッチする。



- **固定アンテナ/手動アンテナ** モーターアンテナ搭載車以外の場合に設定
- **モーターアンテナ** モーターアンテナ搭載車の場合に設定
本機からアンテナの上げ下げができます。(※左記)
(太字はお買い上げ時の設定です。)

お願い

- モーターアンテナ搭載車の場合は、必ず「モーターアンテナ」に設定してください。「固定アンテナ/手動アンテナ」では、アンテナが上がったままとなり、立体駐車場など天井の低い場所を通行時にアンテナを破損の原因になります。

VICS ビーコンユニット

電波 / 光ビーコンから VICS 情報を受信できます。



別売 VICSビーコンユニット (CY-TBX55D)

お知らせ

- 電波不透過ガラス装着車両では、電波ビーコンが受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 赤外線反射ガラス装着車両では、光ビーコンが受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

ETC 車載器

料金所で ETC 拡大図を表示したり、料金履歴を確認できます。



iPod

本機と接続時の iPod の動作について

- iPod 本体では操作できません。
- iPod は充電されます。

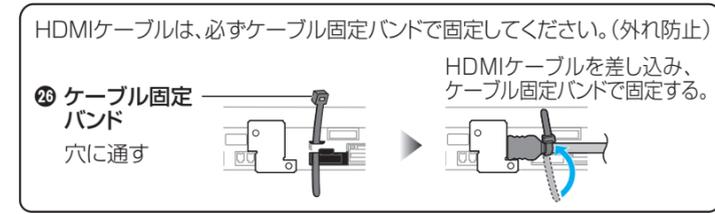


お願い

- iPod 中継ケーブルに iPod 以外の USB 機器を接続しないでください。
- 本機と iPod の接続には、必ず本機に付属の iPod 中継ケーブルを使用してください。
- 本機と接続するときは、iPod のリモコンやヘッドフォンなど、iPod のアクセサリを接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオが iPod のときに、iPod の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因になる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。また、iPod の取り付け・取り外しをするときにコードを引っぱらないでください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、市販のクランパーやテープなどで要所を固定してください。
- 運転中に iPod が動かないように、ホルダーなどでしっかりと固定してください。
- iPod を車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- ACC を OFF にした後は、必ず iPod を外してください。iPod の電源が切れず、iPod の電池を消耗することがあります。

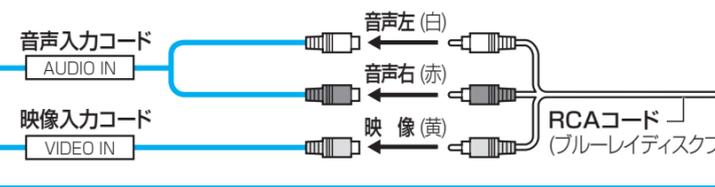
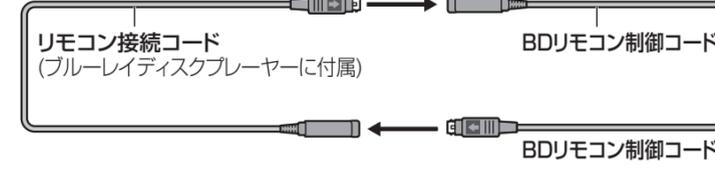
他の機器と組み合わせて使う

接続する各機器の説明書も、よくお読みください。
●推奨品以外の機器と接続する場合は、ご利用できない場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

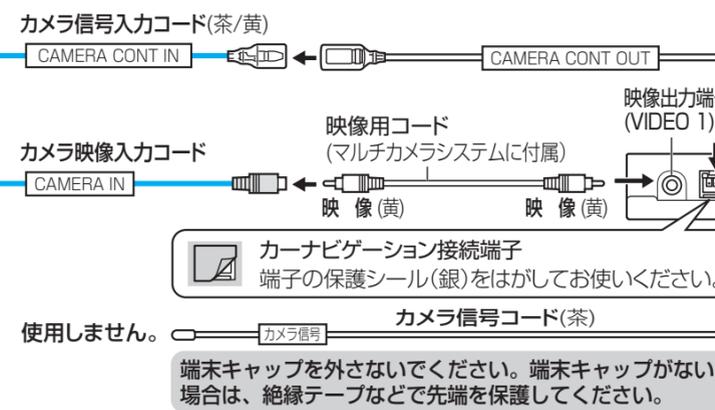


ブルーレイディスクプレーヤー

●ビデオカメラを本機に接続している場合、ブルーレイディスクプレーヤーは接続できません。

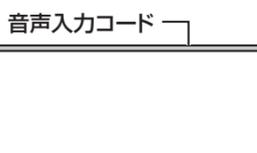


マルチカメラシステム



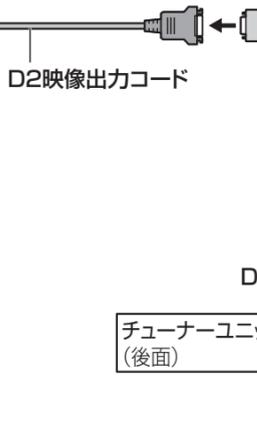
音声入力用マイク

●内蔵のマイクで音声認識やハンズフリーがうまくできない場合、お使いください。



2台目のモニター

●2台目のモニターに D 端子が無い場合は、映像入力端子にのみ接続してください。



お知らせ

- D端子で接続した場合は、デジタルTVのシステム設定画面からD2映像出力を「する (D2)」に設定してください。(⇒取扱説明書) 「しない (D3)」では、2台目モニターにデジタルTVの映像が出力されません。
- RCAコードのみで接続した場合の映像出力 (デジタルTV/DVD) や HDMI 機器の映像出力は、コンポジット信号 (アナログテレビ並の画質) になります。

ビデオカメラ

●ブルーレイディスクプレーヤー (CY-BB1000D) を本機に接続している場合、ビデオカメラは接続できません。

